

# YMCA 大阪青年

# 10

## グローバル市民育成プログラムとしての グローバルユースカンファレンス(GYC)



今回で4回目となる「若者の、若者による、若者のための国際会議」であるグローバルユースカンファレンス(GYC)が、「若者のメンタルヘルス」と「AI(人工知能)は敵か味方か」をテーマに8月6日から9日にかけて、六甲山YMCAで開催されました。世界各国のユース(若者)が、国籍、思想、信仰、文化、言語、ジェンダーの違いを超えて地球規模の課題に取り組み、課題解決のための決議案を導き出すというプログラムを通じて「グローバル市民を育成」することを目的としています。

今年は、新しい試みをいくつか実施しました。まず、ユースコミッティ(構成:若手スタッフ1名、大学生3名、国際専門学校国際学科(IHS)生6名)の組織を再構築し、会長、副会長、書記、会計の役職を設け、責任ある役割を担いました。そしてユースに意思決定権を委ね、ディスカッションのトピック、日本文化紹介での出し物、タレントショー(各国参加者によるパフォーマンス)のプログラムなどを決めました。これは、GYCがユースエンパワーメントで果たす大きな役割の一つです。また、議論を深めるために一定の

英語力を求めることとし、日本人参加者を対象としたスカイプによる英語面接を事前に実施しました。ディスカッションはこれまでになく、内容の濃いものとなりました。さらには、昨年のGYCのダイジェスト版の動画や、ファシリテーターや一般参加者のインタビューの動画をアップすることで、GYCにより興味・関心を抱けるような工夫をホームページに加えて広報内容を充実させました。その結果、日本国内からは47名、21の国と地域(アメリカ、オーストラリア、カナダ、シンガポール、フィリピン、ベトナム、中国、香港、台湾など)から55名の参加者を得ることができました。

特筆すべきこととして、今年のGYCは企画運営からグローバルなユースがその役割を担ったことです。グループディスカッションやメインイベントであるジェネラルアセンブリー(総会)の司会進行を担当する11人のファシリテーターを対象にした研修も、2人のユースがファシリテータートレーナーとして、その重責を果たしました。

GYCも第4回を迎え、青年国際会議としての運営は、ファシリテーターのトレーニングを含

め、ユースが中心となって実施できるようになり、ほぼ完成形に近づいてきました。今後の課題としては、核となるファシリテーターが次の年も参加すること、世界各国からの参加者を招くために、これまで以上にファンドレイジングに力を入れる必要があります。ファンドを充実させ、これまでに参加のないアフリカや南米からのユースを招待することができれば、議論がさらに深まります。

最後に、対外的な認知度をあげることが大きな課題です。次年度は最終日のジェネラルアセンブリーに少しでも多くの学校、行政、企業関係の人々が参加できるような取り組みを行ってまいります。



大阪YMCA  
グローバル事業推進室  
室長補佐  
**ドミニク・パングラジオ**

### ■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人のひとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

# 4TH GLOBAL YOUTH CONFERENCE

## ～第4回 グローバルユースカンファレンス～

### ワークショップ

2018年度のGYCは「メンタルヘルス」と「AI(人工知能)」に着目し、それらを「メンタルヘルスとスティグマ」、「メンタルヘルスと教育」、「AIとコンパニオンシップ」、「AIとワークスペース」という4つのワークショップトピックに分けました。これらのワークショップは3～4人のファシリテーターで運営され、文化や国籍が異なる参加者が互いの意見を尊重し、分かち合いました。

「メンタルヘルスとスティグマ」では、心の病を持つ人に対する社会的にネガティブな印象などについて学び、国による印象の違いやその理由についてディスカッションがされました。このワークショップを通して大阪YMCA国際専門学校国際学科(IHS)に通っている参加者の一人は、「国際的な学校に通っているのにも関わらず、このような社会的問題について自分は無知で向き合えていなかったことに驚きました。」と語りました。また、インターンシップを通して参加した一人からは、「我々の世代はオープンで個性を受け入れるのに抵抗がないと思っていたのですが、このようなメンタルヘルスを持つ人に対して否定的な印象を持っていることに驚き、そして私自身もその一人であることに気づきました。統合失調症などを持つ人に対し、危ないとか怖いという印象を持

ていましたが、このワークショップを通して、むしろ彼らは被害者なのだと学びました。」といった感想が聞かれました。

「AIとコンパニオンシップ」ではAIと人間の共存について参加者が様々な見解を分かち合い、これから急増する高齢者に、どのように役立つのかなど話題も取り上げられました。インターンシップを通して参加した一人からは、「AIは非常に便利なツールですが、やはり全てをAIに頼るのに抵抗する部分もあります。人間とは新しい物を作り、未知の世界や限界を知ること常を追求してきましたが、それに伴って起こる人間への影響を考えなくてはならないと思いました。人間同士のつながりが失われかけているこの世の中で、AIと人間の良いバランスを見つけることがどれほど重要なかを、様々な意見を話し考えさせられました。」との感想がありました。

今年のGYCは英語力の基準を上げたため、前年よりも高度なディスカッションが繰り広げられ、英語が得意ではない日本人参加者も周りの協力や理解で意見を自由に発言していました。

きただ  
(大阪YMCAグローバル事業推進室 スタッフ 北田 まあや)



### ワールド・ゴット・タレント

毎年恒例のカルチャーナイトは、今年はワールド・ゴット・タレント(World's Got Talent)と名前を改めて行われました。2日目の夜に行われたこのイベントは、参加者が各国の文化を紹介するタレントショーのようなものです。今年は、フィリピンのポップカルチャーのダンス、シンガポール特有の英語「シングリッシュ」のレッスン、台湾のハイテンションソングとダンス、韓国参加者の美声で歌われた韓国のバラード曲、浴衣姿での日本のJポップダンスなど、各国独特の国民性なども見受

けられた、参加者みんなで作り上げる楽しく思い出深い夜でした。シングリッシュのレッスンでは皆が発音を試みたり、フィリピンのダンスでは発表者以外も一緒に恥ずかしがりながらも踊ってみたり、韓国のバラード中は暗くした部屋の中で携帯のライトをペンライトに見立てて左右に振ってみたりと、ここでの交流をきっかけに参加者同士の会話が増え、互いが話かけやすい雰囲気ができました。

かどう  
(大阪YMCAグローバル事業推進室 スタッフ チェリー加藤)



### ジェネラルアセンブリー(総会)

2日間のワークショップの集大成であるジェネラルアセンブリーが、8月9日の午後3時から大阪YMCA土佐堀会館で開催されました。午前中のセッションでは、テーマを決定するためのプレゼンテーションと投票を行い、テーマは「AIは敵か味方か」に決まりました。

国連総会の議事の進行に倣って、2人のファシリテーターが議長として議事を進行しました。まず、ブロックディベートを経て、共同声明の原案が作成されました。さらに各グループが修正案を提出し、賛成、反対に分かれてディベートをした後、修正案を採択するか否決するかの投票を行いました。

今回、興味深かったのは、あくまでも人間のアシスタントとしてという条件付ですが、「AIにも選挙権を認めるべき」や「子どもや高齢者の世話をさせるべき」という意見があったことです。

やまうち たくま  
(大阪YMCA UNI-Y, GYCファシリテータートレーナー 山内 沢真)

※総会決議は以下のURLからアクセスしてご覧いただけます。

<https://global-engagement.wixsite.com/globaldepartmentblog/single-post/2018/09/19/GYC-Impact>

2次元コード読み取り▶



### 海洋教育についての新しい取り組み

うちやま まさふみ  
YMCA総合研究所 内山 雅文

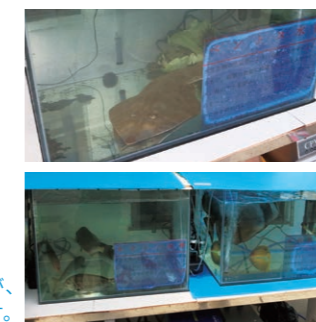
東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター2018年度「海の学び・生涯学習プロジェクト」に、YMCA阿南国際海洋センターが申請した「阿南の子どもを阿南で育むプロジェクト」と、大阪YMCAが指定管理者である堺市立日高少年自然の家が申請した「家族のついで 秋の日高探検キャンプ」の2件が、共に採択されました。(全国の博物館・水族館・社会教育施設から10件のうち2件)

また、公益財団法人 笹川平和財団 海洋政策研究所 2018年度海洋教育パイオニアスクールプログラムに、YMCA学院高等学校が申請した「海洋体験～地球温暖化による海洋環境変化と生命の育みについて学ぶ～」も単元開発部門で採択されました。

いずれも、これらのプログラムを通して、「海とともに生きること」を再確認し、持続可能な未来に向かってよりよく生きるSDGs(Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」)の実践者育成に繋がることが期待されています。



魚の混獲問題について学びます。  
写真はどちらも大数網で捕獲されたが、サイズや数がそろわずに廃棄される魚です。



### YMCAポジティブネット募金 西日本豪雨災害

期間:2018.7.14[土]～10.31[水]

西日本を襲った記録的豪雨は、死者220人、行方不明者9人、今なお多くの方が避難生活を余儀なくされています。長期にわたる支援活動が必要となる一方、今年の猛暑がボランティアの活動も困難にしています。

YMCAは、被災地でのボランティアワーク等の支援に留まらず、中長期的な視野に立って人びとの困難に、息長く寄り添います。コミュニティの復興支援を目指し、全国のネットワークや特性を活かした活動を展開していきます。

YMCAでは広島県、岡山県を中心に、全国のYMCAの協力のもと、支援活動を進めていきます。  
皆さまの尊いご支援をお願い申し上げます。

支援ボランティア  
(泥だしワーク等)

子どもたちへの  
レクリエーションや  
心のケア

夏期キャンプ  
活動への招待

【振込先】  
三菱UFJ銀行 大阪為替集中支店 普通預金  
No.0230070 ザイ)オサカワイエムシーエーダョウジツオガワケン仔ウ  
\*通信欄に「ニシニホンゴウウ」とお書きください。  
通信欄がない場合は、振込名義人の後に  
「ニシニホンゴウウ」と入力してください。

寄附サイト▶



スマートフォンで健康管理

のぐちけんたろう  
土佐堀事業長 野口 賢太郎

近年、携帯電話の普及率は約95%となり、国民のほとんどが携帯電話を所有しています。中でも、この10年程でスマートフォンが一気に拡大し、10年前では10%ほどだった普及率が今では約72%となり、スマートフォンが主流となりました。しかし、電話とメールだけの機能のみの使用で、スマートフォンを上手く活用できていない人が多いのではないのでしょうか。

そこで、スマートフォンのアプリを使って健康管理をしてみたいかがでしょうか。スマートフォンの健康管理アプリには、体重や血圧、運動、食事などの記録をするなど様々な種類があります。これらのアプリを活用すると簡単・手軽に健康管理ができます。

私も健康管理アプリをいくつか利用していますが、その機能はどんどん進化しています。アプリを設定しているだけで、歩いているのか、走っているのか、自転車に乗っているのかなどを感知して、それらが表示されることに驚きました。歩数など目標をクリアするとポイントがたまるものもあり、ゲーム感覚で楽しみながら継続することができます。目標を達成したときには「おめでとう！」と褒めてくれますし、「先週はランニングをしました」など、さぼらないように声をかけてくれ、三日坊主にならないような工夫もされています。

また、アップルウォッチなどのウェアブル端末やアプリに課金することで、より自分にあった内容で健康管理ができます。

記録すること・チェックすることで、無意識にしている望ましくない生活習慣を意識して改善することができます。改善できれば、いい生活習慣を無意識に継続することが大切です。スマートフォンアプリを活用して、自分自身の生活ログ(データとして記録したもの)をチェックしながらQOL(Quality of Life「生活の質」)を向上していきましょう。

土佐堀YMCAと大阪南YMCAのウェルネスセンターでは、さまざまな運動プログラムに参加することができます。トレーニングログやヘルスチェックログを残しながら、運動が生活習慣の一部になるように、スタッフがサポートします!ご来館お待ちしております。

ご寄贈に感謝申し上げます

一般財団法人日本宝くじ協会様から、集会テント5張と宿泊テント5張をご寄贈いただきました。大阪YMCAのウェルネス事業7拠点で、日々のプログラムなど活動の場において、参加者が憩うことができるように有効に活用させていただいております。感謝をもってご報告させていただきます。



YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

■第306回 日 時...2018年10月19日(金) 7:30~8:30  
証 し...<sup>まさぐちのぞむ</sup>牧口 望 さん  
(大阪YMCA早天祈祷会 世話人代表)  
場 所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

問合せ... 大阪YMCA 統括本部 総務  
TEL:06-6441-0894  
E-mail:info@osakaymca.org

会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2018年8月度報告・敬称略

【新規会員】  
宮元 祐希

【継続会員】

猪瀬 正雄  
大谷 智悠  
粕谷 隆  
川元 菜那  
北浦 那華  
桐原 拓  
齋藤 郁恵  
酒井 哲雄

小路 清一  
田端 桐子  
中井 正博  
中野 健一  
仲原 成岳  
中本 和子  
新居 有紗  
福島 眞一  
福山 正和  
部坂 仁  
溝淵 安梨

森井 久瑞  
湯浅 禎也  
吉村 周平

【継続賛助会員】

株式会社扇谷  
社会福祉法人関西のちのちの電話  
関西テレビ放送株式会社  
株式会社テツタニ  
延原倉庫株式会社  
株式会社レンゴー建設

ユースリーダー安全支援金へのご協力に感謝申し上げます。

第2回報告(2018年8月度)・敬称略

青木 佳子  
青野 さくら  
赤松 亜由美  
秋本 久美  
東里 英実  
東里 裕子  
飯田 雪子  
石野 小菜都  
井戸 義郎  
伊藤 鉄矢  
伊藤 正尚  
上田 和實  
上野 綾子  
宇楚 充洋  
大石 秀和  
大崎 正雄  
奥田 源治  
小原 早代里  
柏村 登代子  
加藤 敦子  
香留 伸太郎  
金田 恒  
上出 睦美  
河合 美保  
川岸 清  
川端 信博  
川端 康博

河部 智子  
川元 菜那  
北浦 那華  
Candy Fuqua  
桐原 拓  
國津 香織  
久保 美喜子  
黒田 由美  
栗田 瞳  
Cornwell Steven Scott  
小島 宏樹  
小林 多美代  
小山 陽子  
坂江 京子  
坂田 啓子  
佐久間 史子  
下坊 武雄  
下堂 秋生  
新保 貴子  
鈴木 厚子  
隅田 薫  
勢井 智子  
妹尾 直子  
高田 絵里子  
田中 和也  
田淵 奈津希  
丹吾 礼

辻田 逸紀  
寺川 麻実  
寺下 祐子  
堂本 隆子  
戸張 千瑠  
富田 美咲  
永井 綾香  
中井 琴子  
中井 正博  
長谷 順子  
仲原 成岳  
中村 紗里亜  
新居 有紗  
西角 昌己  
野口 賢太郎  
野尻 由紹  
野間のそみ  
橋本 健太郎  
昌保  
平井 千春  
平出 愛  
藤原 学  
古塚 千絢  
部坂 仁  
細見 愛莉  
堀 武志  
本間 裕加里

牧村 昭一  
松浦 恵子  
松岡 虔一  
松坂 佳江  
松田 有希子  
松本 祐香吏  
溝淵 安梨  
宮西 智華  
宮本 茉奈  
村中 祐美  
森本 啓二  
八尾 和彦  
矢野 成悟  
矢野 恵  
山口 ひかる  
山根 勝良  
山本 佳奈

大阪YMCAのホームページで  
その他の情報をご覧ください。

